

115期1学年通信

第15号 担当：久保拓史

2018年11月22日発行

決断することのむずかしさ

いよいよ、文理のどちらに進むのかほぼ決まりはじめた頃ですね。「決める」を表す言葉に「決意」と「決断」というのがあると思いますが、ニュアンスが多少違うようです。むかし、「決意は毎日しろ」と言われたことがあります。これは人間の意志の弱さも表しています。日々決意し続けないとやらなくなってしまうからなんですね。それに対して「決断する」というのは「決意」以上に重い意味を持つようです。この言葉では「決める」よりも後半部分の「断つ」の方が重要だからです。何かを決めることで何かを断たなければならない。じゃあ、断つものって何だろう。考えてみるとそれは、決めなければ選ぶこともできたかもしれないあなたの様々な可能性だそうです。「やればできるのに」と言われた経験はありませんか。あるいは「まず、あれこれ考えずにやってみろ」とか。意識的にしろそうでないにしろ、何かをすれば他の可能性を（それは好きなテレビ番組を観るとか、小さなものかもしれませんが）失っているのです。

さて、次の話を引用しますので、ちょっと読んでみてください。

ある大学で、こんな授業があったという。



「クイズの時間だ」。教授はそう言って大きな壺を取り出し、教壇に置いた。その壺に、

彼は一つひとつ岩を詰めた。壺が一杯になるまで岩を詰めて、彼は学生に訊いた。

「この壺は満杯か？」

教室中の学生が「はい」と答えた。

「本当に？」そう言いながら教授は、教壇の下からバケツ一杯の砂利を取り出した。

そして砂利を壺のなかに流し込み、壺を揺すりながら、岩と岩のあいだを砂利で埋めていく。

そしてもう一度訊いた。「この壺は満杯か？」

学生は答えられない。ひとりの生徒が「多分違うだろう」と答えた。

教授は「そうだ」と笑い、今度は教壇の陰から砂の入ったバケツを取り出した。それを岩と砂利の隙間に流し込んだあと、三度目の質問を投げかけた。

「この壺はこれで一杯になったか？」

学生は声を揃えて、「いいや」と答えた。

教授は水差しを取り出し、壺の縁までなみなみと水を注いだ。彼は学生に最後の質問を投げかける。「僕がなにを言いたいのかわかるだろうか？」

ひとりの学生が手を挙げた。「どんなにスケジュールが厳しいときでも、最大限の努力をすれば、いつでも予定を詰め込むことは可能だということです」

「それは違う」と教授は言った。

「重要なポイントはそこではないんだよ。この例が私たちに示してくれる真実は、大きな岩を最初に入れない限り、それが入る余地は、その後二度とないということなんだ」

君たちの人生にとって“大きな岩”とはなんだろう、と教授は話しはじめる。それは仕事であったり、志であったり、愛する人であったり、家族であったり、自分の夢であったり。ここで言う“大きな岩”とは、君たちにとっていちばん大事なものだ。

それを最初に壺のなかに入れなさい。さもないと、君たちはそれを永遠に失うことになる。もし君たちが小さな砂利や、つまり自分にとって重要性の低いものから自分の壺を満たしていけば、君たちの人生は重要ではない「なにか」に満たされたものになるだろう。そして、大きな岩、つまり自分にとっていちばん大事なものに割く時間を失い、その結果、それ自体を失うだろう。

以上、人生という時間的な概念を壺という空間に置き換えた話ですが、あなたにとって「大きな岩」とは何でしょうか？それはこれから先、どんどん変わっていくもので高校生活で決まってしまうわけはありません。ただ、「大きな岩」はいくつも選べません。日々考えて生活し、学習していくなかで「決断」し、答えをみつけていくことが大切だろうと私は考えます。

スマホとは上手につき合おう

文武両道で勉強と部活動などの課外活動を高校生活の柱にすると、スキマ時間の活用が大切になります。この時間はメインの学習を補う勉強にあてると有効だと思いますが、結構スマホの時間にとられているように思います。息抜きの時間は必要ですが、少し見直すように考えてみてください。ちなみにこの文章は以前この通信で書いた内容とここまで一字一句同じものです。スマホを使う時間はあなたにとっての「大きな岩」ですか？私は、スキマ時間を上手に使っている人は「大きな岩」がしっかりとしたものになっている人だと考えます。この「大きな岩」の時間に何を充てるのか一人ひとり「決断」してみてください。スキマ時間でできることは、他の時間にもできてしまうことなのです。

薬物乱用防止講座 11月14日

講師の方は、失敗を前向きに感謝に変えていくプラス思考や負の言葉を遣わず、結果に責任を負うことなど、当たり前のことを当たり前にできる大人にお互いなりましょうと語っておられました。

学部学科研究会 11月30日

私は人間は過去からの伝統を継承しつつ新しいものを発見しながら一生学んでいく存在だと考えます。その学びの場のひとつに大学があると思います。将来の自分の就きたい仕事と結びつけたり、好奇心のある学問を学ぶ場所だと考えます。是非、実りあるものにしてください。

11月の予定

今年も残りわずかです。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

- | | | | |
|--------|-------|---------------------------------------|---------|
| 27 (火) | 中間考査1 | 〈①コミュ英I (60分)／②世界史A (50分)／③生物基礎(50分)〉 | 保護者懇談会 |
| 28 (水) | 中間考査2 | 〈①現代文(60分)／②③数学I (80分)〉 | |
| 29 (木) | 中間考査3 | 〈①英語表現I (50分)／②現代社会(50分)／③化学基礎(50分)〉 | 保護者懇談会 |
| 30 (金) | 中間考査4 | 〈①古典(50分)／②③数学A (80分)〉 | 学部学科研究会 |